

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富一郎
(4571 東証マザーズ)
問い合わせ先 社長室室長 香浦敏樹
電話番号 03-3548-0217

放出持続型ドセタキセル DDS 製剤開発のお知らせ

当社はタキサン系の抗がん剤であるドセタキセル*の放出持続型ミセル製剤の開発に成功致しました。

ドセタキセルミセル製剤は、ミセル化ナノ粒子からのドセタキセル放出速度を適度に調節することで、薬効を維持したまま、消化管毒性や浮腫（むくみ）などの副作用を減らすことが期待されます。

当社で行ったヒトがんモデルマウスにおける実験では、体重減少が非常に少なく、抗腫瘍効果も同等以上、という結果が得られております。

同じタキサン系であるパクリタキセルミセル製剤（NK105）とは異なった構造のミセル化ナノ粒子製剤で、開発スケジュールも約 6 年の間隔があり、NK105 の後継品として開発を進めております。

今後、更なる試験を進めると同時に、製薬企業へのライセンスを進めていく予定です。

*ドセタキセルはサノフィアベンティス社よりタキソテール[®]として 1994 年から販売されている抗がん剤です。乳がん、非小細胞肺癌、胃がん、子宮がん、卵巣がん、前立腺がんなどに幅広く使用され、現在も売上を伸ばしており、世界で約 3,000 億円の販売実績があります。一方で、浮腫、骨髄抑制、悪心・嘔吐等の消化器障害、脱毛、肝機能異常、過敏症、全身倦怠感等の副作用があり、患者さんの負担が大きく、当社のドセタキセルミセルの開発は、このような患者さんの QOL 向上を実現し得ると期待しております。

以上